

- 問1 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。

2. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。

3. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。

4. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。
- 問2 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 石包丁

2. 銅鐸

3. 土偶

4. 埴輪
- 問3 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた

2. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた

3. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた

4. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた
- 問4 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった

2. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した

3. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった

4. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった
- 問5 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡

2. 吉野ヶ里遺跡

3. 登呂遺跡

4. 岩宿遺跡
- 問6 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。

2. 本格的な水稻耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。

3. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。

4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。
- 問7 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 琉球民族

2. アイヌ民族

3. 蝦夷（えみし）

4. 渡来人
- 問8 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。

2. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。

3. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。

4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。
- 問9 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 古墳

2. 高床倉庫

3. 環濠集落

4. 貝塚
- 問10 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。

2. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。

3. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。

4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。
- 問11 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡

2. 登呂遺跡

3. 岩宿遺跡

4. 吉野ヶ里遺跡
- 問12 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。

2. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。

3. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。

4. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。
- 問13 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

2. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた

3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

4. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた